

経営比較分析表（令和4年度決算）

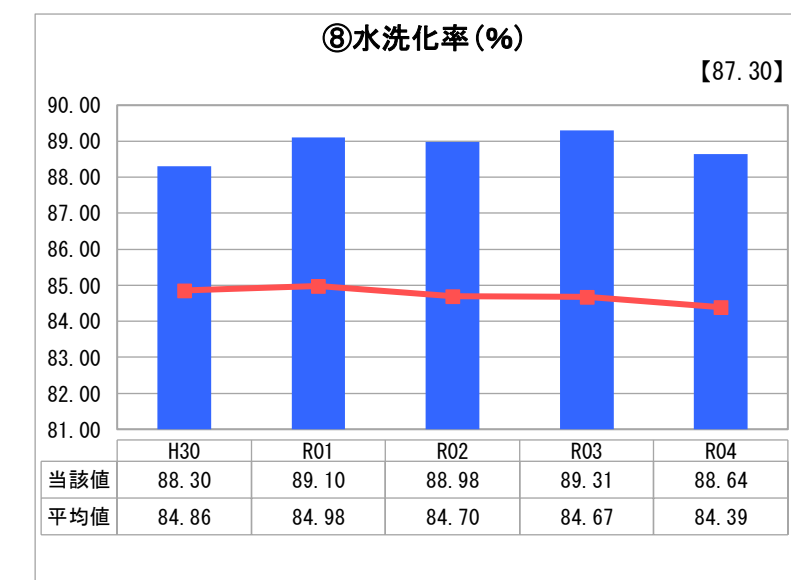
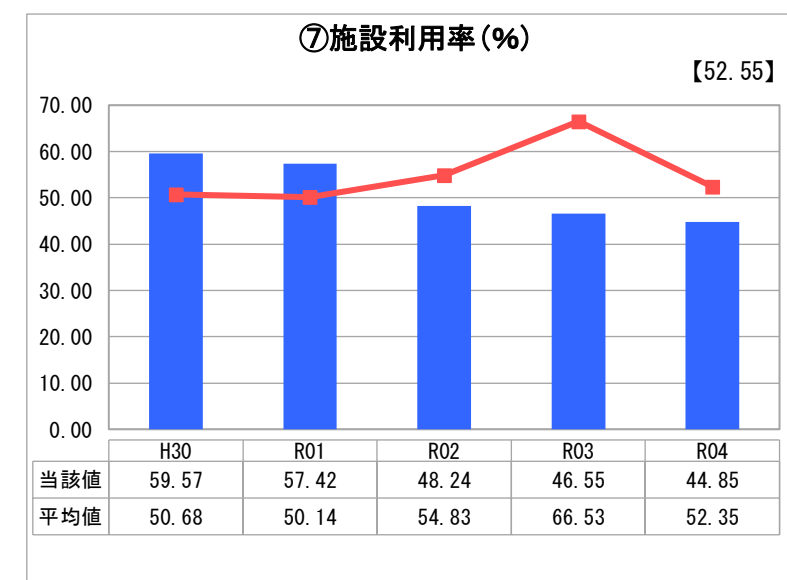
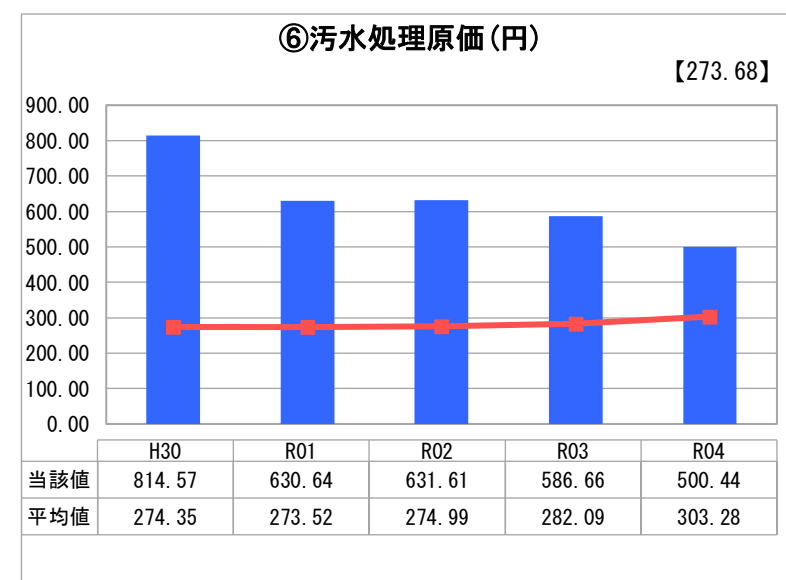
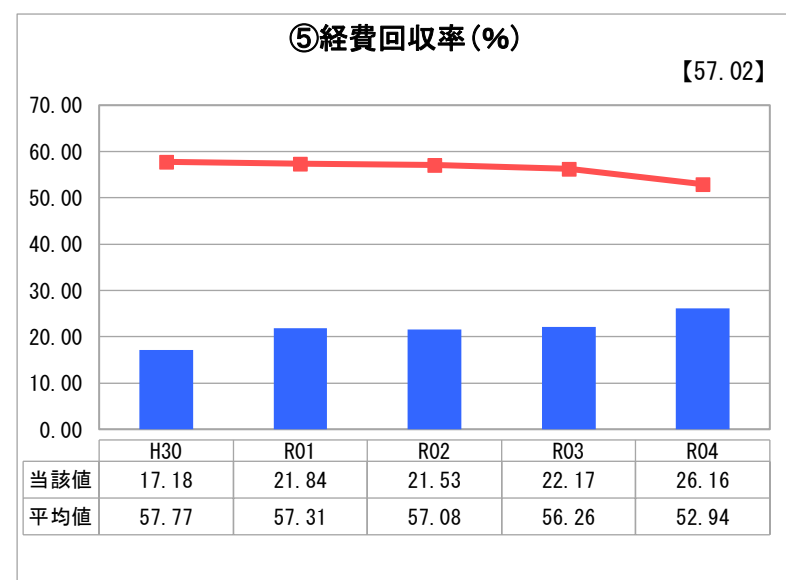
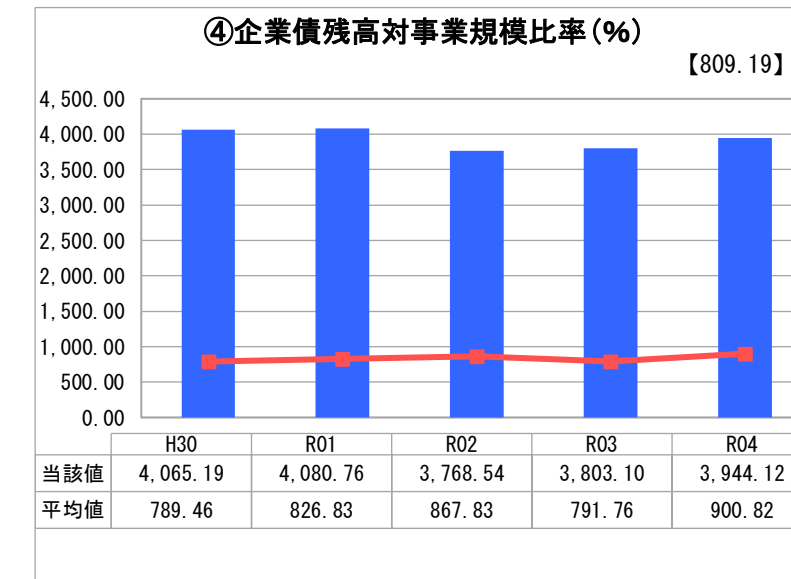
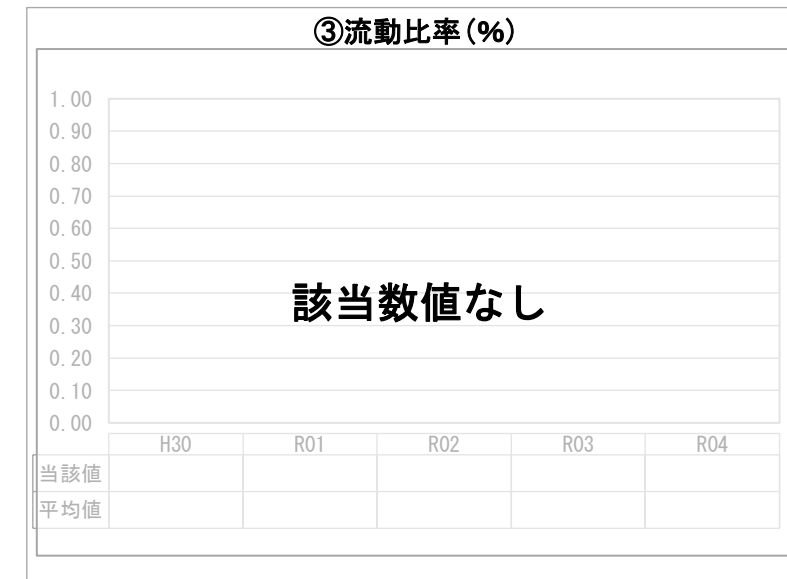
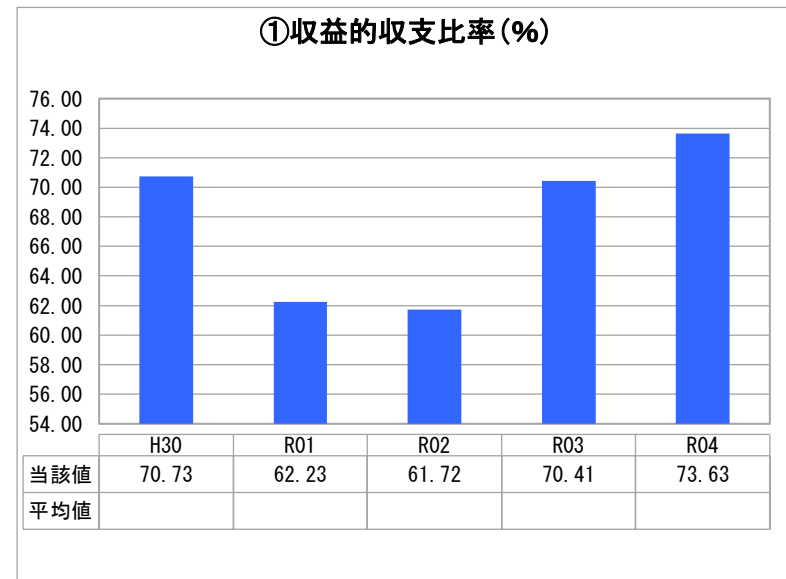
福井県 高浜町

業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法非適用	下水道事業	農業集落排水	F2	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	有収率(%)	1か月20m ³ 当たり家庭料金(円)
-	該当数値なし	17.10	83.28	1,980

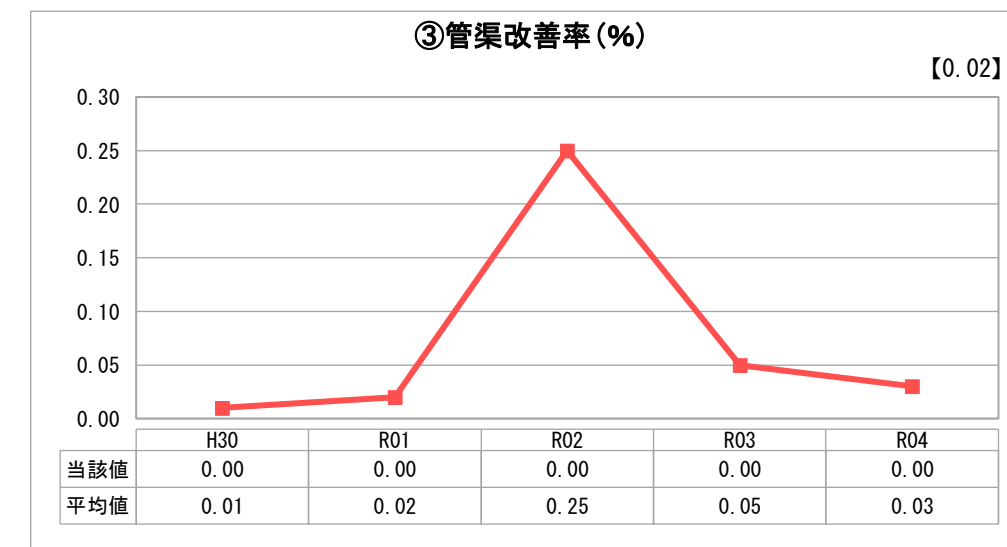
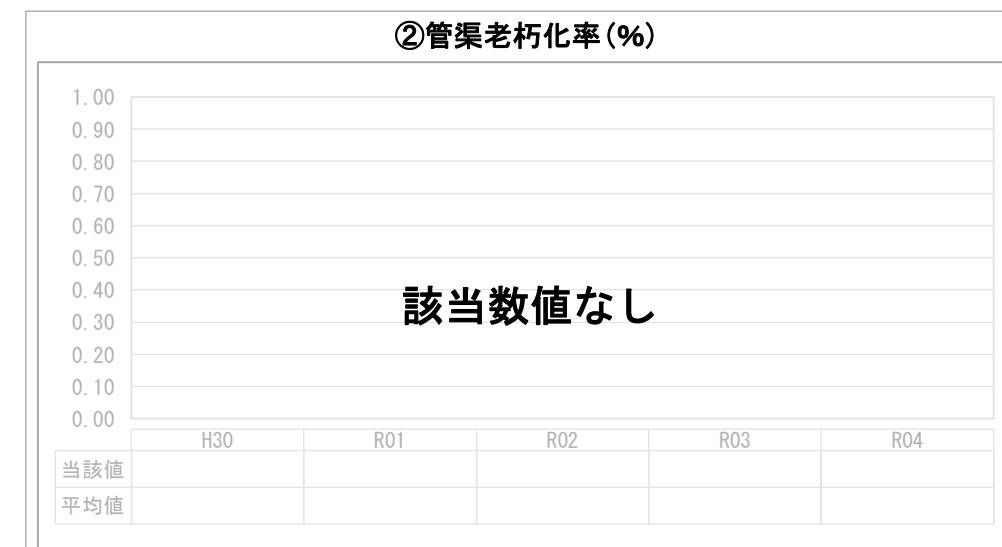
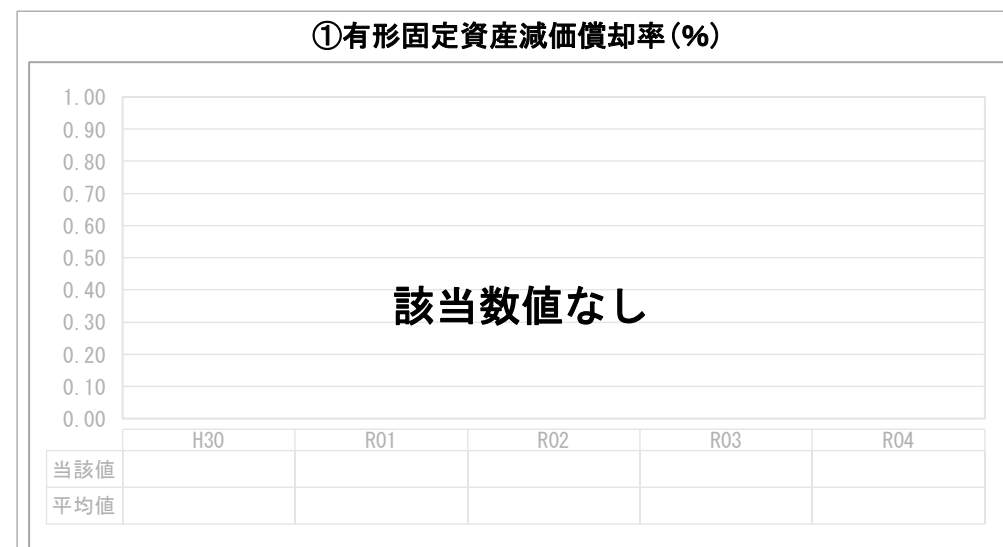
人口(人)	面積(km ²)	人口密度(人/km ²)
9,848	72.40	136.02
処理区域内人口(人)	処理区域面積(km ²)	処理区域内人口密度(人/km ²)
1,673	1.12	1,493.75

グラフ凡例	
■	当該団体値(当該値)
—	類似団体平均値(平均値)
【	令和4年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



2. 老朽化の状況



分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

- ①収益的収支比率
- ⑤経費回収率
両指標とも100%未満であり、また、総収益の約90%を占める一般会計からの繰入金があれば、総費用を補うことができない状況にある。よって、料金改定による収入の増加を検討するとともに、施設維持管理にかかるコスト削減に努めていく。
- ④企業債残高対事業規模比率
類似団体平均値を大きく上回っているが、今後は多額の借入れを予定していないため、徐々に下降していく見込み。
- ⑥汚水処理原価
平成30年5月に一部区域を公共下水道へ移行したため大幅に上昇したが、令和4年度は施設修繕費等の減少に伴い、汚水処理原価も下降した。
- ⑦施設利用率
ここ数年は減少傾向にあり、今後も汚水処理人口の減少により利用率が下降してきた場合は、ダウンサイジング等を検討する必要がある。
- ⑧水洗化率
類似団体平均値を上回っており、今後も農業集落排水への接続を推進していく。

2. 老朽化の状況について

現在、6つの農業集落排水施設を供用しており、最も古い施設の管渠整備は平成8年度から実施している。現状では、管渠の対応年数50年を経過していないため、老朽化対策等は実施していないが、処理施設等の機械・電気設備の修繕が多くなってきていることから、日常点検を基に適切な施設管理を実施している。

全体総括

現状、使用料収入だけでは到底賅い切れず、一般会計からの繰入金によって経営が成り立っている状態にある。令和6年度から公営企業会計となるため、独立採算性を考慮すると、更なる財源確保に努めなければならない。よって、収入の増加のための料金改定を数年後に実施することを検討しており、また、施設維持管理等の支出についても、日常点検により施設の状態を確認しながら、最適整備構想に基づいた個別計画を策定し、効果的・効率的に修繕・更新していくことで、コスト削減に努めながら、安定した経営を目指していく。

※ 法適用企業と類似団体区分が同じため、収益的収支比率の類似団体平均等を表示していません。